

# 一般質問

## 市政のいまを問う

この定例会では、9月6日から8日までの3日間で17人が登壇し、39項目にわたり、市政について一般質問が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

### 質問項目（発言順）

※：掲載した項目

- 上田 昌哉 議員
  - ※1 刈谷市の保育について
  - ※2 刈谷市の就労支援について
- 城内 志津 議員
  - ※1 産後ケア事業の改善について
  - ※2 住宅困窮者を支える市営住宅の在り方について
  - ※3 平和への取組の推進について
- 谷口 睦生 議員
  - ※1 電子図書館システムについて
  - ※2 雅中症対策の推進について
  - ※3 熱中症対策の推進について
- 星野 雅春 議員
  - 1 市長の政治姿勢について
  - ※2 安全で快適な生活環境の維持について
  - ※3 郵便投票制度の現状と課題について
- 三田 真弥 議員
  - ※1 乳幼児教育無償化について
  - ※2 幼老複合施設について
- 森 島 祐 議員
  - 1 小・中学生への不登校対策について
  - ※2 道徳教育や郷土愛を育む教育について
  - ※3 まちのきずなづくりについて
  - ※4 認可外保育園について
- 鈴木 定晴 議員
  - 1 ごみ散乱のないきれいなまちづくりについて
  - ※2 歩行者・自転車・自転車の安全通行について
  - ※3 刈谷市の水道ビジョンについて
  - ※4 放課後児童クラブへのお弁当の配達について
- 伊藤 愛恵 議員
  - ※1 子育て・教育に関わるICT化の推進について
  - ※2 ICT等を活用した魅力的な図書館づくりについて
  - ※3 公共施設等における情報インフラ整備について
- 武藤 美智代 議員
  - 1 刈谷市地域公共交通計画について
  - ※2 悩みを抱える子ども・若者への支援について
  - ※3 蜂須賀 信明 議員
- 葛原 祐季 議員
  - ※1 地域とともにある学校づくりについて
  - ※2 育休退園について
  - ※3 稲垣 雅弘 議員
- 山崎 高晴 議員
  - ※1 山崎 高晴 議員
  - ※2 山崎 高晴 議員
  - ※3 山崎 高晴 議員
- 山本 シモ子 議員
  - ※1 山本 シモ子 議員
  - ※2 山本 シモ子 議員
  - ※3 山本 シモ子 議員
- 外山 鉦一 議員
  - ※1 外山 鉦一 議員
  - ※2 外山 鉦一 議員
  - ※3 外山 鉦一 議員

質問・答弁がホームページから映像で御覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。



**上田 昌哉 議員**  
 いろいろな子育て政策を厚く実施し、少子化対策の推進を!!  
 適切な保育環境の整備につなげられるよう努める

**問** 認可保育所に入園可能な人が、あえて認可外保育所を選ぶことはできるか。その場合、補助は受けられるのか。

**答** 希望すれば認可外保育所を選択して利用することは可能である。補助金については、認可保育所への入所申込みを行い、希望の園に入れず、認可外保育所に通う場合に、受けることが可能である。

**問** 今後、保育を必要とする

**城内 志津 議員**  
 支援を必要とする全ての人が利用できる産後ケア事業に改善を!!  
 本人が希望すれば、基本的には利用できる形になっている

**問** 4年間実施してきた産後ケア事業の課題は。

**答** 御本人からの希望がない場合もあるが、丁寧に対応していきたいと考えている。

**問** 産後ケア事業には宿泊型・日帰り型・訪問型があるが、本市は訪問型を実施していない。体調や家庭の事情など、自宅でのケアを望む母親もいる。訪問型を実施しないのか。

**答** 他市の状況や市民ニーズ

**谷口 睦生 議員**  
 学校教育でのタブレット端末利用など電子図書館の積極活用を!!  
 児童生徒全員にIDを付与し朝の読書活動等の活用を検討する

**問** 今年度開設予定の電子図書館の目的、概要、メリットは。

**答** インターネット上で24時間いつでも、パソコンやスマホから電子書籍の検索・貸出し、返却・閲覧ができる。デジタルデータのため劣化や破損・紛失がなく、蔵書スペースが軽減され、音声読み上げ機能や文字サイズ拡大機能により読書困難者や高齢者でも気軽に閲覧できる。

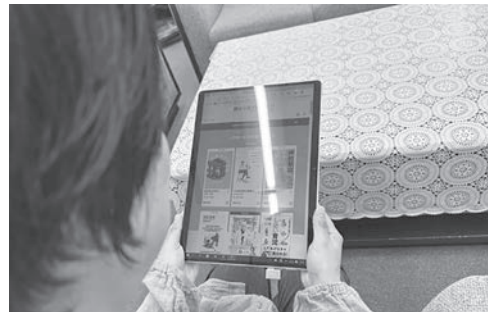
**問** 学校教育で電子図書館を

**伊藤 愛恵 議員**  
 ICT活用で保護者の利便性向上と保育・教育の質の向上を!!  
 放課後児童クラブにもアプリ等の導入を調査研究する

**問** 子育てに係るICTの推進として、保育園登園アプリ導入は、保護者と園の双方にメリットがあると考えますが、今後付随する機能等の検討状況は。

**答** これまで対面または電話で行っていた欠席連絡やお便り機能など保護者と保育園の間の手続をオンライン化した。保護者の利便性と職員の誤りや見逃しが、手間ないよう園児の出欠席の集計や、手間なく必要な情報を発信でき、事務負担を軽減することで保育の質の向上を図る。

**問** 放課後児童クラブの出欠管理や保護者の通知にもアプリ等を導入し、効率化や児童と関わる時間の創出、安全性の向上



電子図書館の導入により学校教育におけるデジタル化を推し進める

**星野 雅春 議員**  
 安全で快適な生活環境を保全するための条例制定を!!  
 条例制定は考えていないが、生活環境保全の観点から研究する

**問** 豊田市は安全で快適な生活環境を目指して、ごみ屋敷、樹木のみ出し等の原因者に寄り添い解決するための条例を制定した。当事者、市、地区が三位一体で課題解決できる仕組みが必要と考える。市の見解は。

**答** 現時点で条例制定は考えていないが、生活環境保全の観点から引き続き研究していく。地域に寄り添った対応を進めていくが、状況に応じて原因者に

**三田 真弥 議員**  
 ゼロ歳児から2歳児も段階的に保育の無償化を!!  
 全体に対する割合は少なく、公平性の観点から課題がある

**問** 議員報酬を削減してでも乳幼児教育の無償化を行うべきだと考えているが、市はどのように考えているか。

**答** ゼロ歳児から2歳児については、保育施設に通う子どもの数が、全体の数と比較するとその割合は少なく、在宅で保育する方との公平性の観点において課題もあることから、現時点では無償化の対象に含めることは考えていない。

**森島 公祐 議員**  
 道徳を基盤とした教育の提供を!!  
 教育活動全般を通して豊かな心を育てる活動に取り組む

**問** 教育の根幹に「道徳」があることを皆が感受できる仕組みを学校や地域で作っていきなす。不登校児童生徒の急激な増加を受けて、学校という組織が一部機能不全に陥っていると仮

**葛原 祐季 議員**  
 地域とともにある学校づくりにに向けた取組の理想像は!!  
 「私たちの学校」として大切に思ってもらえる活動に

**問** 様々な理由により不登校となった子供の支援は。

**答** 家庭やすこやか教室、ほっとルームなどで自分のペースで学習が進められるようタブレット端末を貸し出し、オンラインドリル教材や、授業配信を含めた学習支援を行っている。学習機会の保障や学習環境の整備を

**星野 雅春 議員**  
 安全で快適な生活環境を保全するための条例制定を!!  
 条例制定は考えていないが、生活環境保全の観点から研究する

**問** 豊田市は安全で快適な生活環境を目指して、ごみ屋敷、樹木のみ出し等の原因者に寄り添い解決するための条例を制定した。当事者、市、地区が三位一体で課題解決できる仕組みが必要と考える。市の見解は。

**答** 現時点で条例制定は考えていないが、生活環境保全の観点から引き続き研究していく。地域に寄り添った対応を進めていくが、状況に応じて原因者に

**三田 真弥 議員**  
 ゼロ歳児から2歳児も段階的に保育の無償化を!!  
 全体に対する割合は少なく、公平性の観点から課題がある

**問** 議員報酬を削減してでも乳幼児教育の無償化を行うべきだと考えているが、市はどのように考えているか。

**答** ゼロ歳児から2歳児については、保育施設に通う子どもの数が、全体の数と比較するとその割合は少なく、在宅で保育する方との公平性の観点において課題もあることから、現時点では無償化の対象に含めることは考えていない。

**森島 公祐 議員**  
 道徳を基盤とした教育の提供を!!  
 教育活動全般を通して豊かな心を育てる活動に取り組む

**問** 教育の根幹に「道徳」があることを皆が感受できる仕組みを学校や地域で作っていきなす。不登校児童生徒の急激な増加を受けて、学校という組織が一部機能不全に陥っていると仮



自分のペースで学習を進めることができるよう環境を整備し学びの保障を

**葛原 祐季 議員**  
 地域とともにある学校づくりにに向けた取組の理想像は!!  
 「私たちの学校」として大切に思ってもらえる活動に

**問** 様々な理由により不登校となった子供の支援は。

**答** 家庭やすこやか教室、ほっとルームなどで自分のペースで学習が進められるようタブレット端末を貸し出し、オンラインドリル教材や、授業配信を含めた学習支援を行っている。学習機会の保障や学習環境の整備を

**星野 雅春 議員**  
 安全で快適な生活環境を保全するための条例制定を!!  
 条例制定は考えていないが、生活環境保全の観点から研究する

**問** 豊田市は安全で快適な生活環境を目指して、ごみ屋敷、樹木のみ出し等の原因者に寄り添い解決するための条例を制定した。当事者、市、地区が三位一体で課題解決できる仕組みが必要と考える。市の見解は。

**答** 現時点で条例制定は考えていないが、生活環境保全の観点から引き続き研究していく。地域に寄り添った対応を進めていくが、状況に応じて原因者に

**公職選挙法で市議会議員は寄附や年賀状などを出すことが禁止されています。**

本人が出席しない場合の結婚祝、本人が出席しない場合の葬式の香典、葬式等の花輪、供花、お中元お歳暮、病氣見舞、入学祝卒業祝、お祭りへの寄附や差し入れ、町内会の集会や旅行などの寄附や差し入れ

**鈴木 定晴 議員**  
 市内歩道等の不具合について、計画的に修繕を!!  
 緊急性や優先度を考慮し、順次修繕を実施している

**問** 市として歩道の段差や凹凸している状況の把握方法は。

**答** 職員による日常の道路パトロールや通行者からの「あいかり」による歩道の段差などの道路情報の投稿、各地区からの改善要望などで得られた情報を基に現地確認し、状況を把握している。

**問** 歩道に関して、令和4年度に地域からの情報や「あいかり」を通して写真投稿などで何

**佐々木 隆教 議員**  
 放課後児童クラブへのお弁当配達サービスの本格導入を!!  
 ニーズの高さを受け、サービス導入に向けて検討していく

**問** 長期の休みにおいて、放課後児童クラブの保護者のお弁当作りの負担軽減のために、お弁当配達サービスの導入を要望してきた。8月に実施した実証実験の概要と利用状況は。

**答** 日高児童クラブ、小高原児童クラブを対象に、株式会社アイシンと協働し、「めしクルー

**伊藤 愛恵 議員**  
 ICT活用で保護者の利便性向上と保育・教育の質の向上を!!  
 放課後児童クラブにもアプリ等の導入を調査研究する

**問** 子育てに係るICTの推進として、保育園登園アプリ導入は、保護者と園の双方にメリットがあると考えますが、今後付随する機能等の検討状況は。

**答** これまで対面または電話で行っていた欠席連絡やお便り機能など保護者と保育園の間の手続をオンライン化した。保護者の利便性と職員の誤りや見逃しが、手間なく必要な情報を発信でき、事務負担を軽減することで保育の質の向上を図る。

**問** 放課後児童クラブの出欠管理や保護者の通知にもアプリ等を導入し、効率化や児童と関わる時間の創出、安全性の向上

**武藤 美智代 議員**  
 悩みを抱える子供や若者の支援に係る相談窓口の拡充を!!  
 相談を希望される方をお待たせしない体制づくりを検討する

**問** 子ども・若者総合相談窓口の相談者の年齢層や内容、また「子ども・若者の居場所」の内容は。

**答** 年齢層は20代が一番多く、主な内容は就労、ひきこもりなどである。「子ども・若者の居場所」は、不安や孤独を感じる人が、相談員と交流したり、読書するなどゆとりを過ごせる場所として開設しており、安心感を得られるよう支援している。

**問** いじめがエスカレートし、自死に至る前に早期に発見するため、どう対応しているか。

**不登校となった子供の社会的自立を目指す取組を!!**  
 校内外を問わず学びの保障に努め、未来への希望につなげる

本人が出席しない場合の結婚祝、本人が出席しない場合の葬式の香典、葬式等の花輪、供花、お中元お歳暮、病氣見舞、入学祝卒業祝、お祭りへの寄附や差し入れ、町内会の集会や旅行などの寄附や差し入れ